



赤い羽根
福祉基金

赤い羽根福祉基金「盛和塾 就職活動応援助成」

FAQ

○対象要件について

Q1)就職活動を開始する時点で、自宅で親と同居しているのですが、対象になりますか。

⇒家庭復帰しても、保護者の疾患等により、支援を受けられない状態で生活している場合等は対象に含まれますので、申請者による推薦コメントに理由を記載してください。ただし、審査の結果対象とならないこともあります。

Q2)大学進学後もしばらくの期間措置延長により施設に在籍していました。現在は施設を出てひとり暮らしですが、対象になりますか。

⇒就職活動時点で施設を退所していれば対象に含まれます。

Q3)児童養護施設には、高校在学中から卒業時までのわずかな期間在籍しただけなのですが、対象になりますか。

⇒施設の在籍期間は問いません。

Q4)高校2年生まで児童養護施設に在籍し、その後自宅に戻って親と同居しつつ専門学校に通っているのですが対象となりますか。

⇒原則として、高等学校卒業時に児童養護施設に在籍していたことが要件となります。申し訳ありませんが当応援助成では現在は対象としておりません。

Q5)大学を退学して就職活動を実施しようとしているのですが、対象になりますか。

⇒申し訳ありませんが、当応援助成では現在は対象としておりません。

Q6)高校卒業時に母子生活支援施設に在籍していましたが対象になりますか。

⇒申し訳ありませんが、当応援助成は現在は児童養護施設に在籍していた方に限らせていただいております。

Q7)この助成で対象としている専門学校とは何をさしますか。

⇒専門学校

高等学校卒業程度以上の者が入学対象となる、修業年限1年以上の学校をさし、専門課程をおく専修学校。「専門学校」と称する学校はこれに含まれます。

例) 医療分野(看護、歯科衛生等)、教育・社会福祉分野(保育、介護等)、衛生分野(調理、美容等)、商業分野(簿記、観光等)、農業分野(園芸、畜産等)、服飾・家政分野(ファッション、スタイリスト等)、文化・教養関係分野(デザイン、音楽等)、工業分野(情報処理、マルチメディア等)など多分野にわたる学科があり、全国で約2,800校があります。

⇒各種学校

学校教育に類する教育を行うもので、入学資格の条件がない、あるいは中学校卒業程度以上の者が入学対象となる教育施設をさします。

例) 自動車教習所、洋裁学校、理容学校、服飾学校、予備校など教育する施設として設置されています。

○就職活動に関する要件

Q8)助成を受けた後、就職活動に取り組んだことの証明や、使途の証拠書類の提出の必要はありますか。

⇒実際に就職活動に取り組んだこと、使途に関する報告をアンケート等で提出いただく予定です（証拠書類等の提出は求めません）。

Q9)対象となる費用は例示されているものだけですか。運転免許の取得は対象となりますか。

⇒就職に必要な資格であれば対象となります。その他対象となるかわからない場合は、それが必要な理由を添えて事務局までお問い合わせください。

Q10)就職活動が思うようにいかなかった場合や、就職を見送った場合などは、助成金は返還しなければなりませんか。

⇒就職活動の成果は問いませんが、活動を実施することが必須です。また後日報告をアンケート等で提出いただきます。

○申請者について

Q11)申請者の「退所児童等支援事業所」とはどんな団体ですか。

⇒社会的養護のもとを退所した児童に対する支援に取り組む活動を行う事業所・団体等をさします（退所児童等アフターケア事業を実施する法人・団体（国庫補助）に限定しませんが、団体情報や活動実績をホームページで公表されていることが要件となります）。

Q12)申請者の「児童相談所等支援機関」はどんな機関をさしますか。

⇒児童相談所、児童家庭支援センターなどの公的な機関を想定しています。

○アンケートについて

Q13)就職活動後にアンケートに協力することになっているようですが、どのような内容ですか。

⇒アンケートでは、助成金の使途と就職活動の内容を含め、助成金の活用に係る内容をお伺いする予定です。

なお、後日、本助成の成果の周知のために、就職活動の報告を個別に求める場合があります。